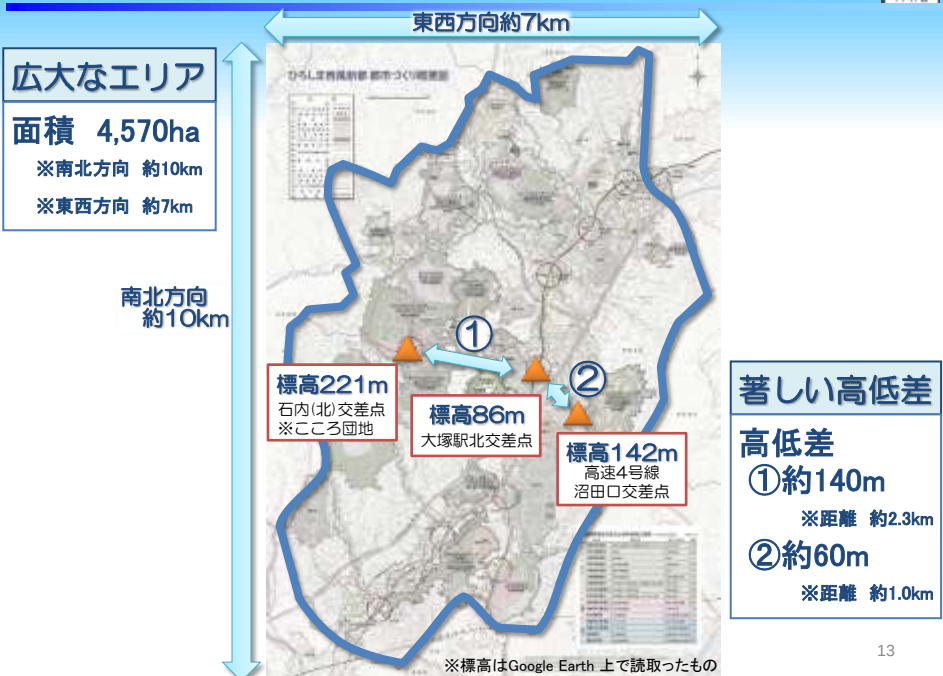


Ⅱ 西風新都における交通のスマート化について

12

1 地形状況

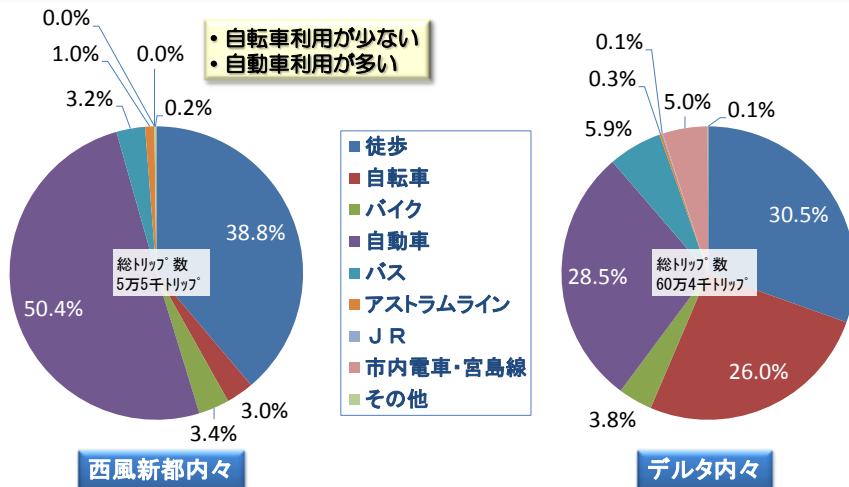


13

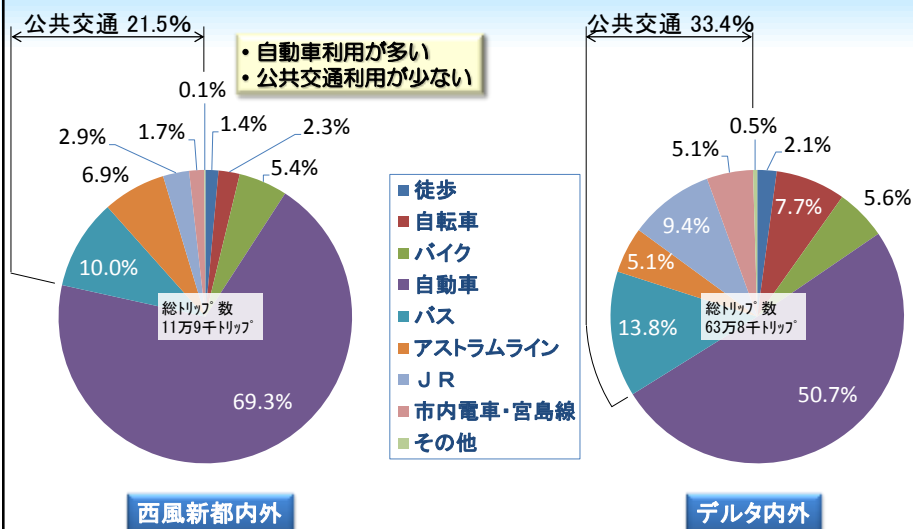
2 交通の現況



(1) 代表交通手段別の割合 ア 域内内々交通

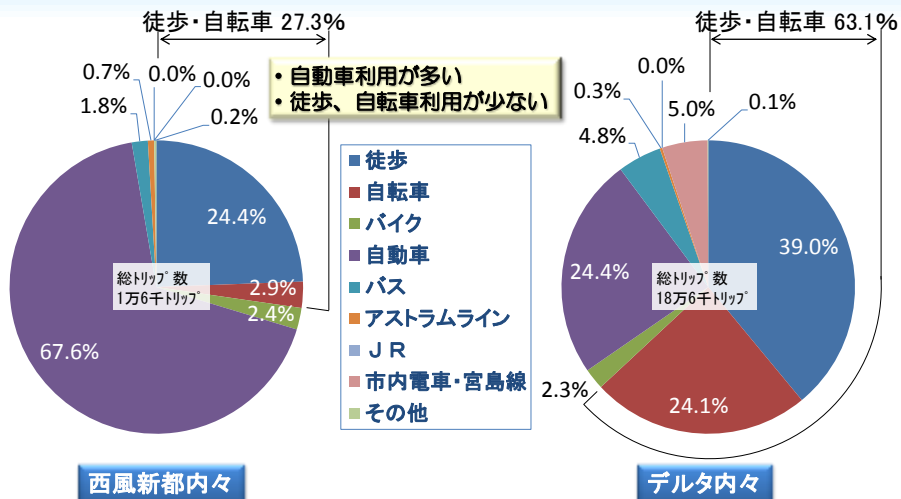


イ 域内内外交通



(2) 生活交通における交通手段別の割合

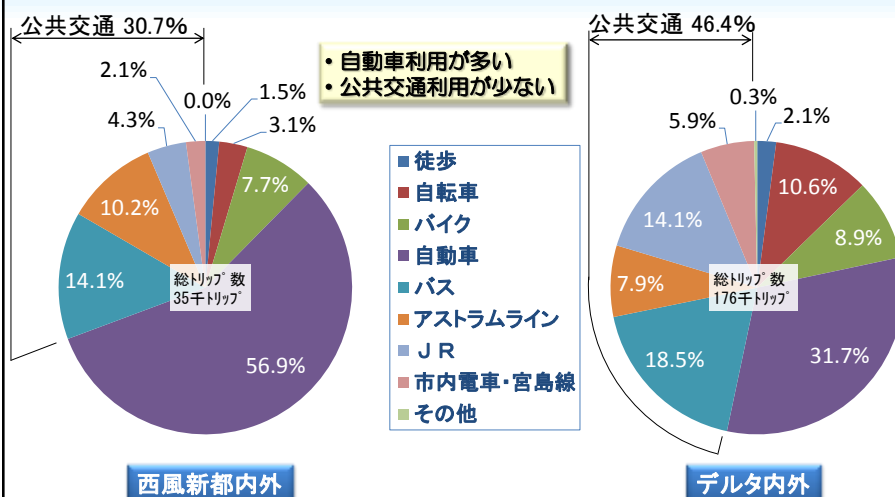
ア 域内内々交通



※交通目的が「買物」「私用」の交通を生活交通とした 16

(3) 通勤・通学交通における手段別の割合

ア 域内内外交通



※交通目的が「出勤」「登校」の交通を通勤・通学交通とした 17

(4) 生活交通における域内移動量

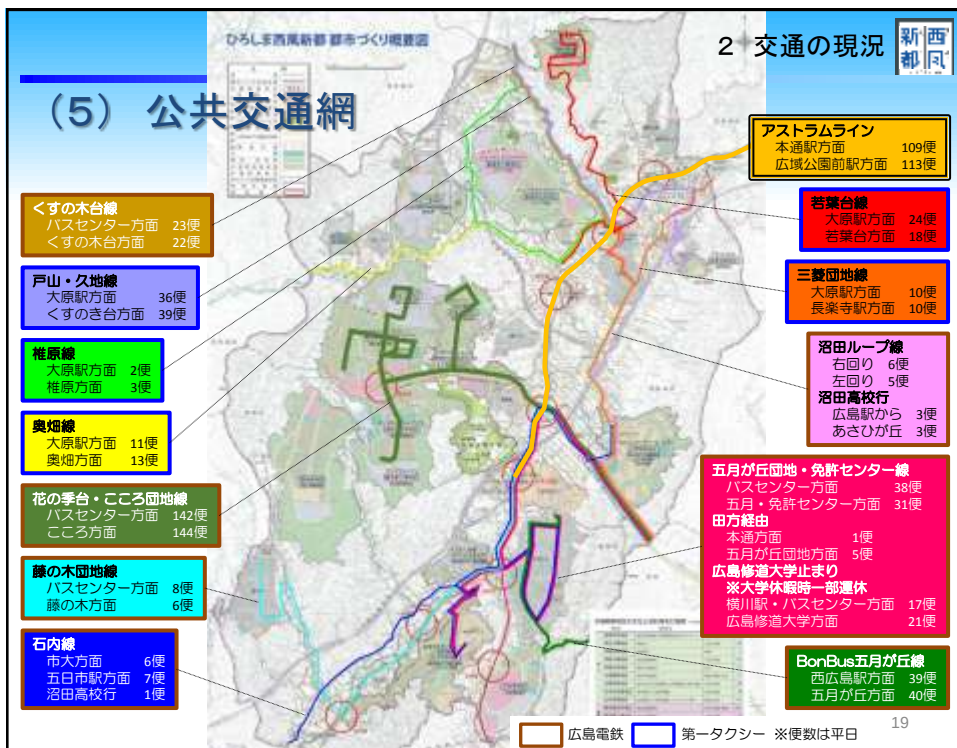
	生活交通の 域内移動量 (トリップ)	居住人口 (人)	1人当りの 域内移動量 (トリップ/人)
西風新都	16, 356	47, 424	0. 345
デルタ	185, 613	274, 569	0. 676

※交通目的が「買物」「私用」の交通を生活交通とした

※居住人口は広島市交通実態調査(H20)における

住民アンケート調査時の住民基本台帳人口(H20.9.30現在)

(5) 公共交通網



3 西風新都における交通の特徴と問題点



特 徴

- 移動手段は、自転車利用が少なく、自家用車利用が中心
- 域内外移動において、公共交通利用の割合が少ない
- 生活交通における域内人口に比して、移動機会が少ない

【要因分析】

- ・エリア内は著しい高低差
- ・エリアが広大
- ・複合的な都市構造のため交通需要が多様

- ▶ 徒歩・自転車では移動負荷が大
- ▶ 公共交通サービスで全てのニーズを網羅できない
- ▶ 自家用車等、プライベートな交通手段が主体

問題点

- ・公共交通サービスの利便性が低い地域の存在
- ・マイカー依存で環境への負荷が大きい交通体系

20

4 超小型モビリティについて

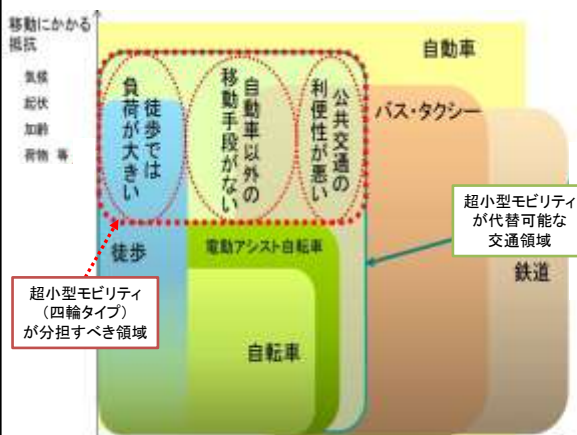


・超小型モビリティとは

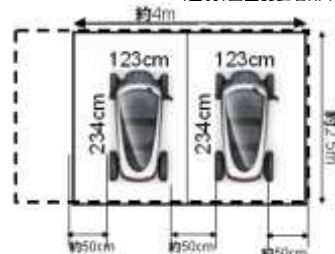
自動車よりコンパクトで小回りが利き、環境性能に優れ、地域の手軽な移動の足となる1人～2人乗り程度の車両



(出典:国土交通省HP)



(出典:国土交通省HP)



--- : 普通自動車1台の駐車場サイズ (約9m, 3.3m)

(出典:横浜市HP)

21

4 超小型モビリティについて



スズキ Q-CONCEPT
(2011年東京モーターショー出展車)

ダイハツ PICO(ピコ)
(2011年東京モーターショー出展車)

ホンダ マイクロコミューターコンセプト
(2011年東京モーターショー出展車)

トヨタ Camatte(カマッテ)
(2012年東京おもちゃショー出展車)

トヨタ車体 COMS(コムス)
日常生活やビジネスの役に

日産 ニューモビリティコンセプト

(出典:国土交通省資料) 22

4 超小型モビリティについて



利活用イメージと導入効果

近距離(5km圏内)の日常的な交通手段として

- 買い物、地域活動、通勤・通学など、日常生活交通の「新たな交通手段の提供」、「子育て層や高齢者の移動支援」
- 人の流動・交流の活性化を通じて「地域社会の活性化」
- 公共交通と結節した末端交通としての活用による「交通システムの最適化」、「コンパクトなまちづくりとの融和」など

観光地・商業地での回遊・周遊の際の移動手段として

- 立寄り地点・範囲の増加による「回遊性の向上」と「地域の魅力再発見」
- 「観光地の魅力向上・集客増加」
- 自然環境やまちとの調和による「地域の付加価値向上」など

小規模配送やポーターサービス等の配送手段として

- 「荷捌き駐車問題の改善」
- 「小規模・地域内物流の効率化」
- 効率的な小口輸送の実現による「サービスの向上」など

自然豊かな観光地域
～観光回遊・周遊～

中心市街地(商業地・観光地)
～まちの回遊・観光回遊～

中心市街地
～物流効率化～

大規模開発地区
～日常の交通～

郊外住宅地
～日常の交通～

中山間地
～日常の交通～

(出典:国土交通省HP)

23

4 超小型モビリティについて



○道路運送車両法上の区分

定格出力 (電動自動車)		0.6kW以下	0.6kW超
エンジン排気量		50cc以下	50cc超～660cc以下
三・四輪車	歩行補助用具 (免許不要) ・時速6km以下 ・車検なし ・全長:1,200mm ・全幅:700mm ・全高:1,080mm 	第一種原動機付 自転車 ・全長:2,500mm ・全幅:1,300mm ・全高:2,000mm 	軽自動車 超小型モビリティ ・定格出力8kW以下 (又は125cc以下) ・乗車定員2人以下 (又は2個のCRBを取り 付けたものは、3人以下) ・高速道路走行不可  ・全長:3,400mm ・全幅:1,480mm ・全高:2,000mm ・車検あり ・乗車定員4人 ・高速道路走行可 

(出典:国土交通省HP)

24

5 超小型モビリティの認定制度概要



認定制度では、安全確保を最優先に考え、①高速道路等は走行しないこと、②交通の安全等を図るための措置を講じた場所において運行すること、等を条件とした上で一部基準を緩和することとし、認定を受けた超小型モビリティは公道走行が可能となります。

超小型モビリティの認定制度概要

○対象とする超小型モビリティ

- ① 長さ、幅、高さが軽自動車の規格内の三・四輪自動車
- ② 乗車定員2人以下のもの(2個の年少者用補助乗車装置を取り付けたものにあっては、3人以下)
- ③ 定格出力8kW以下(又は排気量125cc以下)のもの

○申請者

地方公共団体又は地方公共団体が組織した協議会

○認定時の保安基準の取り扱い

安全確保を最優先として、主に以下の取り扱いを行う。
(主な例) 制限された運行地域→座席の取付強度基準を緩和
車幅の狭い車両→二輪の灯火器の保安基準を適用

○認定後の措置

- ・一台毎の基準適合性審査(いわゆる車検)を軽自動車検査協会にて実施
- ・使用者に対する運行地域、安全対策等の事前説明
- ・運行時には、各車両に認定書の写しを携帯させるとともに、申請者は、毎年運行結果を地方運輸局長に報告

(出典:国土交通省HP)

25

6 検討課題の整理



(1) 検討の方向性

交通課題と対応

- | | |
|------------------|-------------------|
| ○公共交通の利用促進 | ⇒ 端末交通手段の確保 |
| ○環境負荷の少ない交通体系の構築 | ⇒ 効率的なシステムの構築 |
| ○地域活性化のため、移動機会の増 | ⇒ 手軽で使いやすい交通手段の導入 |

西風新都都市づくりの重点施策

○スマートコミュニティの推進

社会的要請

- 低炭素社会の実現
- 人口減少・高齢社会への対応

環境に優しく地域の手軽な交通手段としての適用性が高い超小型モビリティを活用した交通まちづくりと、ICT技術を利用した使いやすく効率的な交通システムの導入について検討する

26

6 検討課題の整理



(2) 検討項目

ア 事業計画の策定

- ・ アンケート調査やヒアリングの実施による潜在需要の把握
- ・ 事業主体、運営スキームの検討
- ・ 西風新都の特性に応じた、地域のまちづくりにつながる事業計画の立案

イ ICT技術を活用したスマート化の検討

- ・ 使いやすく効率的な交通システムの構築
- ・ 各種データとの組み合わせによる新たなサービスの確立等

27